

文化庁 文化芸術等支援 LINE

文化芸術・スポーツ関係者や団体に対して、活動の継続や再開などを支援。

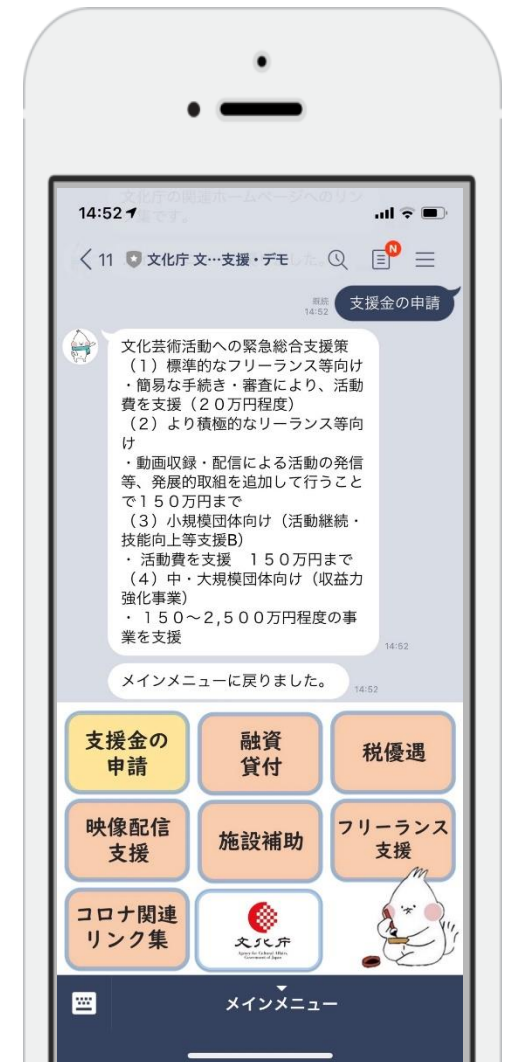
- ・ 情報配信
- ・ 自動の問い合わせ対応
- ・ LINE申請システム
の3機能を搭載。

ぜひ、QRでお試しく下さい

現時点の文化庁の
文化芸術等支援の
LINEアカウント



※文化庁LINE (Ver ① 5月31日)
<https://lin.ee/1oHugVA7Z>



文化庁「LINE申請システム」

文科省の学生支援緊急給付金と同じシステムを使用しています

給付金申請 LINEでも
困窮学生、25日にも開始
文科省

文部科学省は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的に困窮する学生への支援策として設けた最大20万円の「学生支援緊急給付金」について、LINEで申請できるようにする方針を固めた。給付元となる日本学生支

援機構(JASSO)などと連携してシステムを構築し、全国の大学と調整した上で25日にも申請が始められるようにする。給付金は学生からの必要書類などを踏まえ学校側が審査し、学校から給付対象となる学生の名簿を受け取ったJASSOが現金を振り込む仕組み。申請する学生は直接学校に行くか郵送する必要がある。

新たなシステムに登録した学校には、それぞれLINE用のQRコードを発行。学生はQRコー

ドを読み込んで給付金申請の専用フォームにアクセスし、選択式で現在の生活状況を回答したり、学生証や給与明細の写真を送付したりして必要事項を記入して送信する。申請を受けた学校側は審査を終えると、同じシステムを使ってJASSOに給付対象者の一覧を送ることができるという。関係者は「事務手続きが簡素化し、早く支給できる効果もある」としている。

給付金は全国の大学や短大、専門学校、日本語学校などに通う学生が対象となり、留学生も含む。

約3日間で
学校 **837校**
学生 **25499人**
が利用！

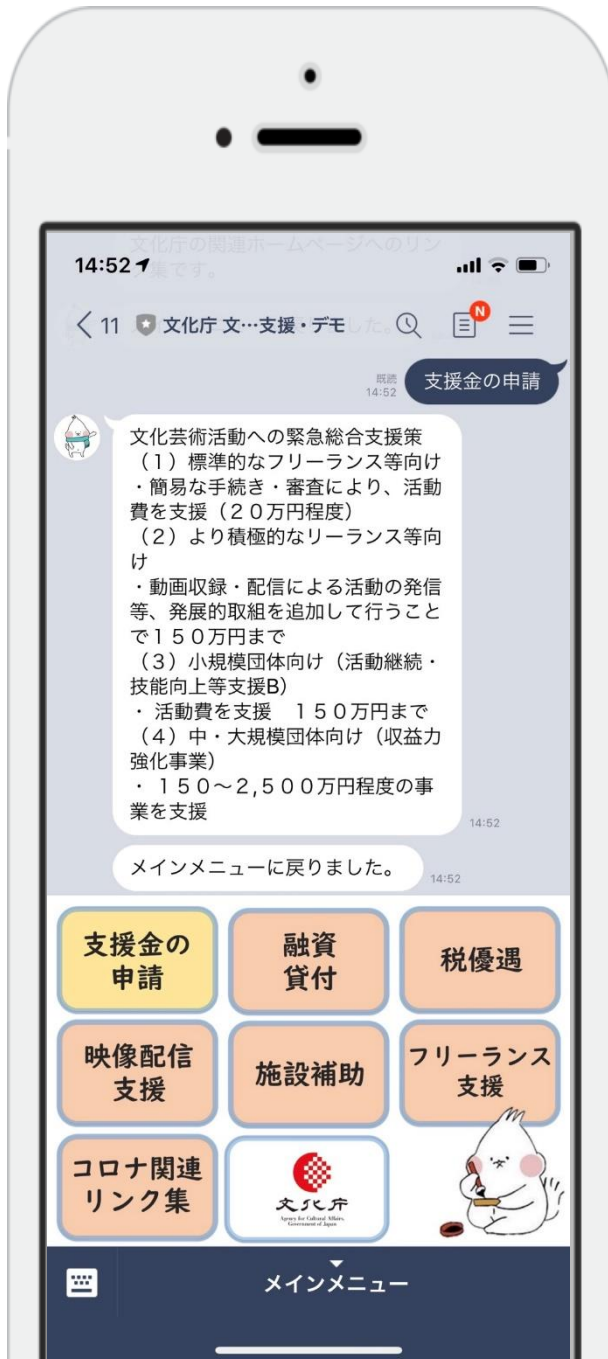
※5月31日現在

日本経済新聞 5月23日(土)

メインメニュー画面

- ① 支援金の申請
- ② 融資・貸付
- ③ 税優遇
- ④ 映像配信支援
- ⑤ 施設補助
- ⑥ フリーランス支援
- ⑦ コロナ関連リンク集
- ⑧ 文化庁リンク集

の各メニューを選択し、
分岐させる。



① 支援金の申請



- ① 支援金の概要
- ② 支援金の動画
- ③ よくある質問
- ④ 申請する

の各メニュー

※

①の概要はさらに4択に分岐させています。

②融資・貸付

文化芸術関係者の資金繰りに関するメニュー

- ・資金繰り支援活用ガイド
- ・その解説版
- ・動画版

・経営相談窓口

資金繰り支援及び持続化給付金相談窓口（中小企業庁）
<https://www.meti.go.jp/press/2020/04/20200408002/20200408002.html>

平日の相談窓口（公庫・信用保証協会等）
<https://www.meti.go.jp/press/2019/01/20200129007/20200129007.html>

土日の相談窓口（公庫・信用保証協会等）
<https://www.meti.go.jp/press/2019/02/20200228010/20200228010.html>

ミラサポ派遣専門家（無料相談）
<https://www.mirasapo.jp/>（



③税優遇

本制度の概要

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/202005011800_01.pdf

イベントの指定要件

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/202005011800_02.pdf

払い戻さず寄附

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/202005011800_03.pdf

イベント指定の申請フロー

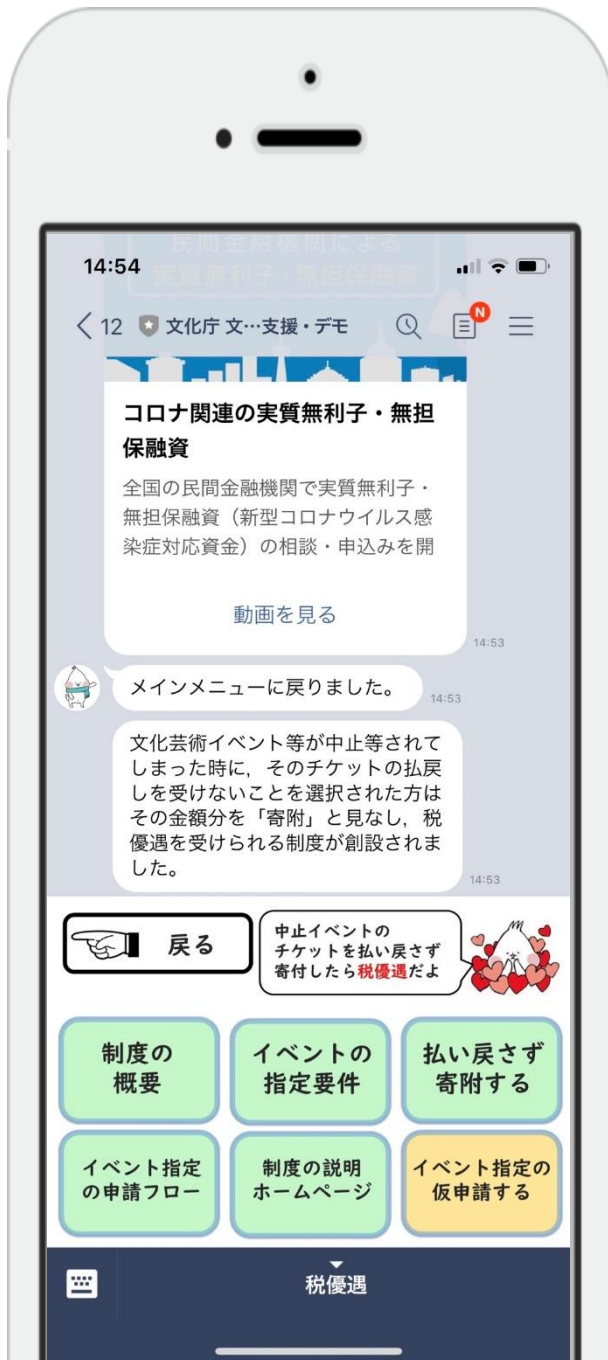
https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/202005201600_01.pdf

制度の説明ページ

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/covid19_info/donate.html

イベント指定 仮申請フォーム

<https://pf.mext.go.jp/admission/index/input.html>



④映像配信支援

無観客公演などの映像支援事業の紹介

補助金公募の動画

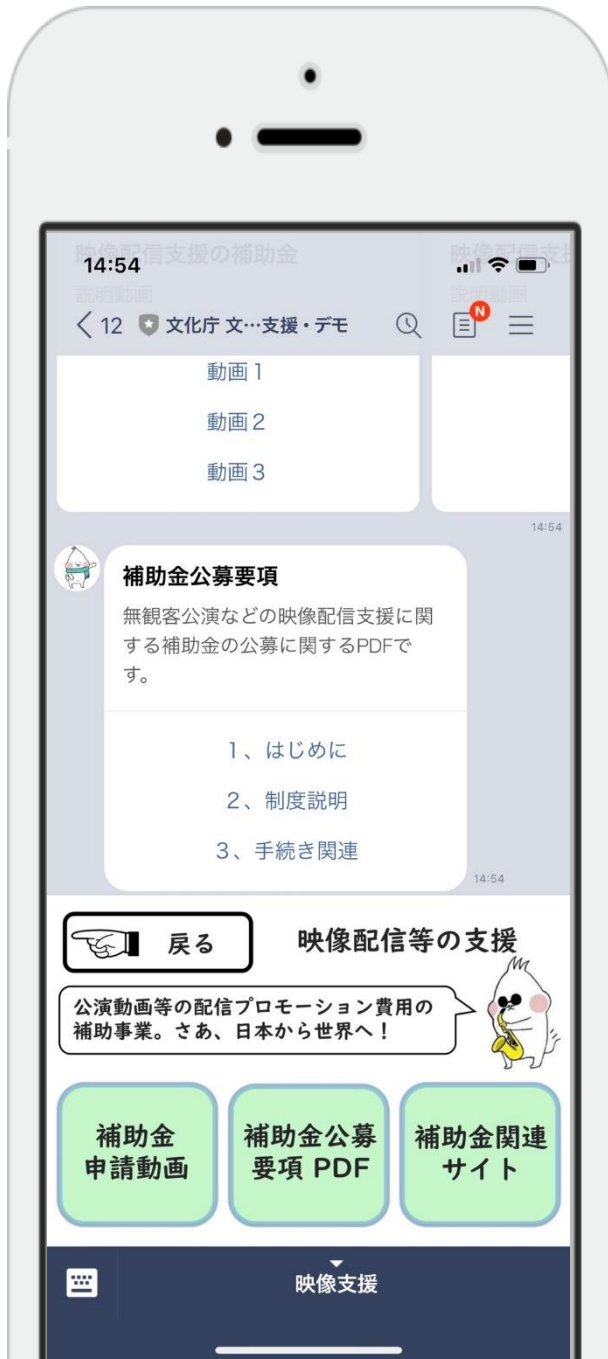
<https://j-lodlive.jp/orientation/#support>

補助金公募要項 PDF

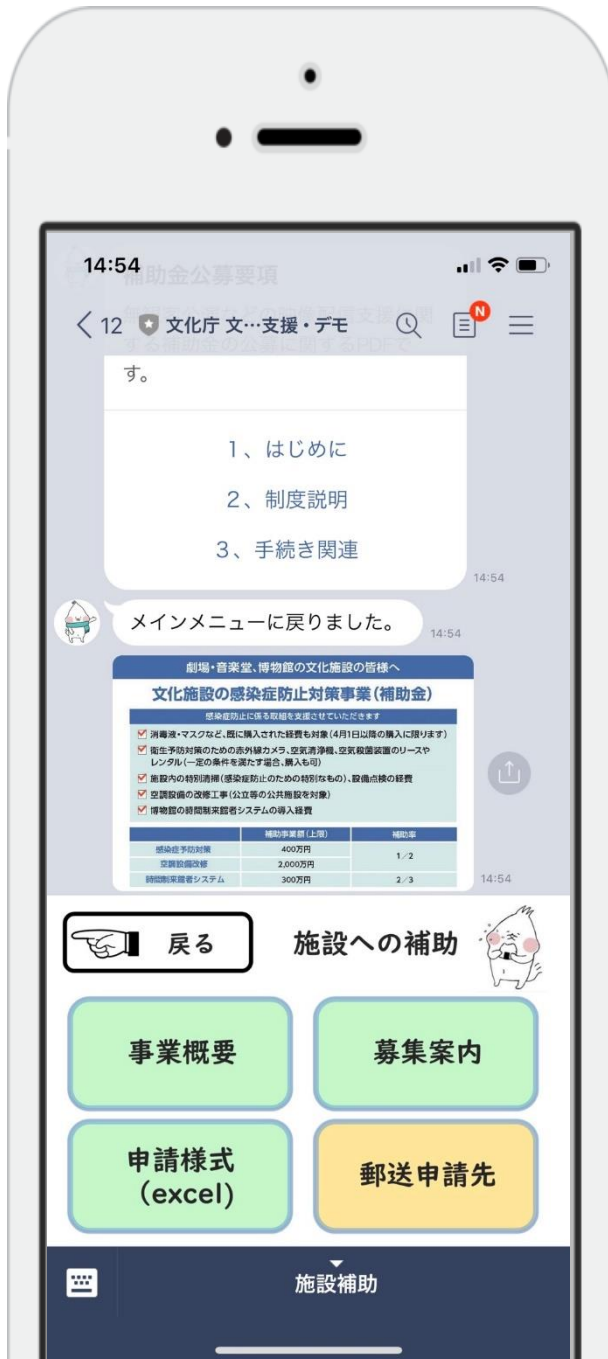
https://www.vipo.or.jp/u/J-LOD_live_youkou_ver1.pdf

補助金関連サイト

<https://j-lodlive.jp/about/>



⑤文化施設への補助



【公募情報】文化施設の感染症防止対策事業（補助金）
https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/92252301.html

事業概要
https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92252301_01.pdf

募集案内
https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92252301_02.pdf

申請様式 (excel)
https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/excel/92252301_03.xlsx

郵送申請先

⑥フリーランス支援



フリーランス向け解説資料

(5月7日版) (778.3KB)

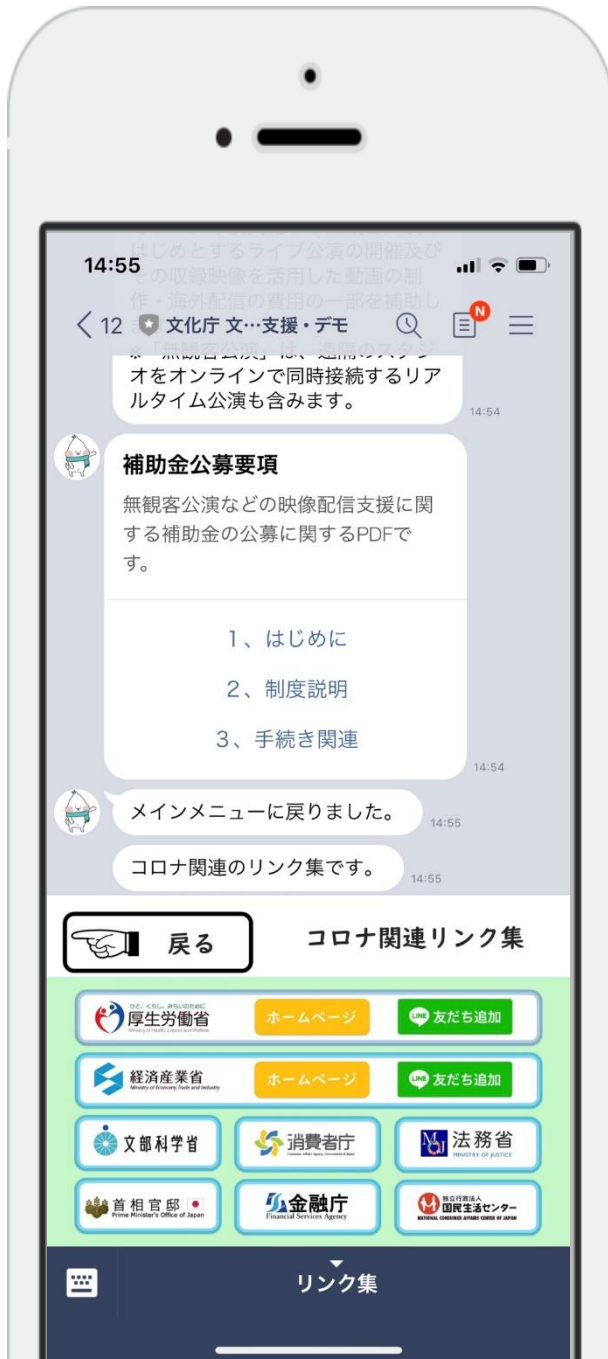
https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/20200421_03.pdf

経産省の支援策のLINEアカウント紹介

⑦リンク集

コロナ関連のLINEアカウント

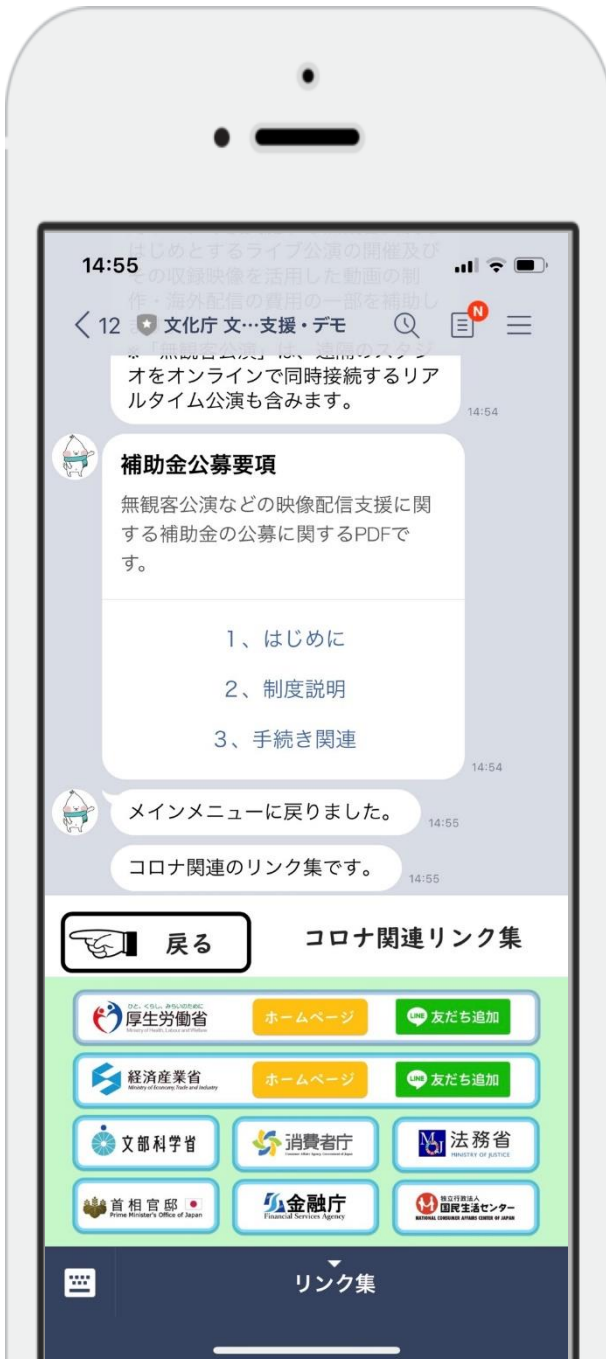
- ・厚生労働省
- ・経済産業省
- ・文部科学省
- ・消費者庁
- ・法務省
- ・首相官邸
- ・金融庁
- ・国民生活センター



⑦官公庁コロナ関連 LINEのリンク集

コロナ関連のLINEアカウント

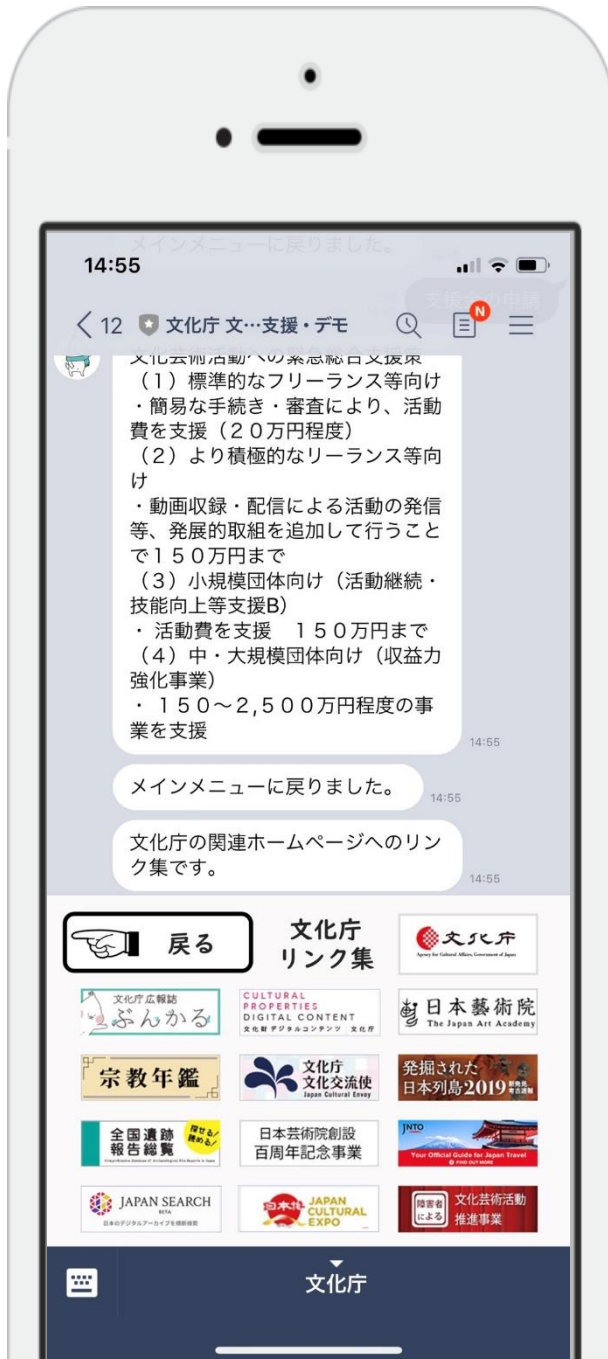
- ・厚生労働省
- ・経済産業省
- ・文部科学省
- ・消費者庁
- ・法務省
- ・首相官邸
- ・金融庁
- ・国民生活センター



⑧文化庁リンク集

文化庁関連のリンク集

デモ版のため、入れ替え可能です。



文化庁のLINE申請 のシステム

スピーディな申請手順

- 1、チャットボットで手順動画
- 2、LINEカメラで書類を撮影
- 3、LINEチャットボットで入力
- 4、データフォームを文化庁CSV様式に自動変換して転送。

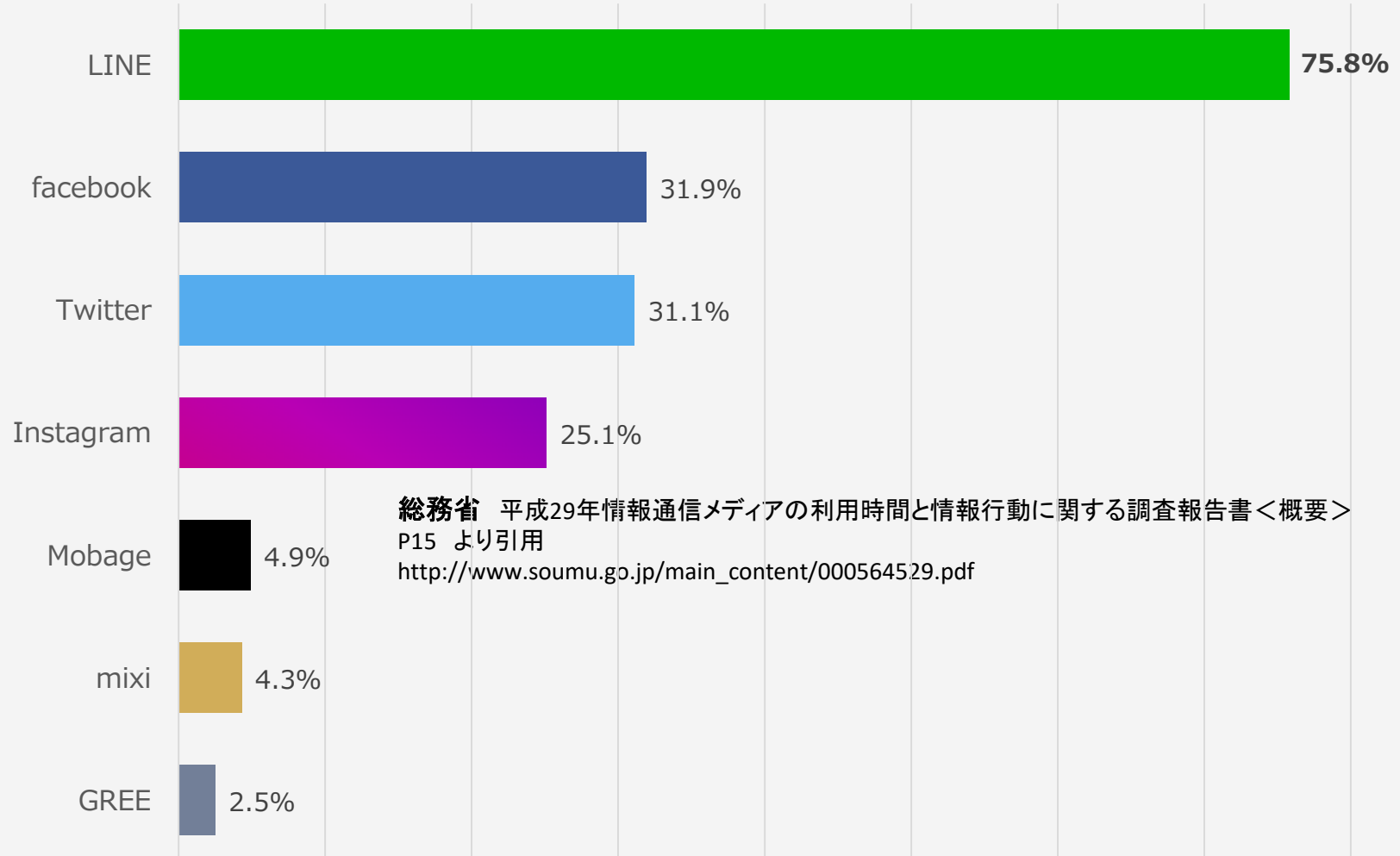
→手書きの入力をしなくても、そのまま
でシステムに入るので事務が簡略化。

The screenshot shows a mobile application interface for applying for cultural support grants. The title is "芸術文化に関する支援金" (Cultural Support Grant) with the URL "myfm.jp". The form is titled "支援金の種類" (Type of Support Grant) and is marked as "必須" (Required). There are four radio button options: "標準的なフリーランス (20万円)", "積極的なフリーランス (150万円まで)", "小規模団体向け (活動継続・技能向上等支援)" (which is selected), and "中・大規模団体向け (収益力強化事業)". Below this is a section titled "申請者について" (About the Applicant). It includes a field for "申請者の名前" (Applicant's Name), marked as "必須", with the value "村井宗明" (Murai Naomasa) and a note "フリーランスの方は自分の名前" (For freelancers, use your own name). There is also a field for "団体の場合は代表者氏名" (Name of Representative if Organization), with the value "LINE芸術財団" (LINE Art Foundation) and a note "理事長、会長など。個人の場合は空欄で大丈夫です。" (Chairman, President, etc. For individuals, leave blank). A section for "申請者、代表者の個人証明書" (Personal Certificate of Applicant/Representative), marked as "必須", shows a "ファイル未選択" (No file selected) button. At the bottom, there is a note: "免許書などをスマホのカメラで撮影したものを添付してください。団体の場合は代表者の個人証明書が必要です。" (Please attach photos of licenses etc. taken with your smartphone camera. For organizations, a personal certificate of the representative is required.)

參考資料

SNSユーザー比率（総務省統計）

総務省 平成29年 全年代(N=1500)



LINEのセキュリティ①

LINE株式会社及び主要子会社では、国際的に最も広く活用されている情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の国際規格である、ISO27001認証を取得しています。JIS Q 27001（ISO/IEC 27001）は、組織が自社で保護すべき情報資産を洗い出し、各情報資産に対して機密性（Confidentiality）、完全性（Integrity）、可用性（Availability）をバランスよく維持し、改善していくことを可能にする仕組みを構築することを目的とした規格です。

また、LINEは個人情報関連サービスに関する内部統制の国際認証SOC（Service Organization Control）2、3（及びSysTrust）を世界で初めて同時に取得いたしました。SOC2、SOC3認証は、顧客情報が第三者による不正アクセスから安全に保護されていることを証明するものであり、提供するサービスそのものの安全性だけでなく、運営する組織、管理システム、プロセスなど、総合的な内部統制について、ユーザーにサービスの信頼性を保証するものです。



LINEのセキュリティ②

LINEは、ユーザ間のトーク内容に対して、通信経路で暗号化が施されています。また、ユーザ間トーク内容のうち、テキストメッセージ、位置情報、1対1のVoIPのメディアストリーム(音声とビデオ)は、LINEのLetter Sealing エンドツーエンド暗号化 (end-to-end encryption, E2EE)を用いて暗号化されています。Letter Sealing は、第三者のみならず当社のサーバー管理者であっても、通信上及びサーバー上でのメッセージ内容を閲覧することは出来ないことを保証します。

暗号化通信とLetter Sealing は、標準的な暗号化アルゴリズムを採用しています。

また、LINEのユーザー情報のうち、当社の定める主要な個人情報（電話番号、メールアドレス、パスワード等）は全て暗号化の上保管され、その管理状況を定期的に点検しています